

## 公共芸術

### 工芸の美、人文が結集

園区従業員及び来賓に独特の芸術の饗宴を鑑賞してもらうため、南科管理局は2009年より台南園区五大区域(南科管理局前広場、宿舍エリア、開放空間エリア、洪水調節池及び主要交差点)に、20件を超える公共芸術品の設置が終わりました。各地点の特性はそれぞれの芸術家が最も適合する作品をデザインしています。

#### 南科管理局前広場

成長の生命力と切っても切れない関係を代表する公共芸術「年輪」は、5年を2本の線の間で表し、南科管理局前広場から外に向かって拡大成長しています。南科管理局がますます遅くなり、永続発展する最良の象徴です。

#### 宿舍エリア

作品形式は彫塑及びストリートファニチャーで、「人」と「家」の暖かい雰囲気を作り出しています。

#### 開放空間エリア

公共芸術品の形式は相互可動式芸術遊具及びストリートファニチャーで、開放空間の特色を利用して、親子が一緒に楽しむ相互交流の空間を創造しています。また道を囲む手法で人々をここでの散歩に誘います。





5基目の貯水池送水パイプの公共芸術



2010南科公共芸術祭作品《KaKaNaNa》



2010南科公共芸術祭作品《自然に通じる道》

### 洪水調節池

親水性と親子が共に楽しむ相互交流の公共芸術をメインにして、人と水をさらに近づけさせ、親和力のある園区空間を作り出しています。

### 主要交差点及び主要道路入り口曲がり角

標的式作品で園区入り口を意匠しています。また南科の精神を最も有しているランドマーク装置「東大門給水塔」は、全国三大科学園区の中で極めて園区の特徴を有している公共芸術品です。

### 迎賓彩帯(来賓を迎えるリボン)、南科の将来を踊る

鉄鋼構造の南大門入り口大型芸術装置「迎賓彩帯(来賓を迎えるリボン)」が2010年1月25日に完成しました。

このリボンは創意理念の装置芸術で、来賓を歓迎するほかに、南科は全ての台湾企業及び外地で就業している人々が故郷に帰って貢献すること、故郷に根を下ろすこと、そして家族を守ることも希望する感性のアピールです。この構造物は湖畔に立つ大型門戸の意匠造景で、リボンが揺れ動く時の動態美感を取入れたデザインは、南大門の現行入り口のスピード感と遠心力に順応する動態バランスを保ち、更に湖面の波が反射する下で、揺れ動く姿は「南風再起」の精神を表して、故郷に栄光と希望の風が吹き寄せます。



台南園区第2期基地污水处理場



自然人文を展開する台南園区西大門の景観



高雄園区第2期標準工場



自然と共生する南科実中校舎の景観